

苦痛の少ない内視鏡検査を目指して

「食後にむかむか」や「最近体重が減った」「便に血が混じる」といったような症状があれば一度検討したいのが胃や大腸の内視鏡検査。しかし、カメラがのどを通るときの感覚が苦手を受けるといふ人も少なくないのでは。JR英賀保駅から徒歩5分の「入江病院」の消化器内科では、できるだけ患者の苦痛を取り除けるようにと考え、さまざまな工夫を施しています。

口ではなく鼻からカメラを挿入
経鼻内視鏡検査も選択できます。検査では鼻の奥の麻酔を行った後、5mmほどの細さの内視鏡を鼻の穴から挿入します。舌の付け根を圧迫することなくスコープが通過するので、気持ち悪さも感じにくいとか。また検査中でも会話できるので、医師や看護師とのコミュニケーションがとれます。

鎮静薬で眠ったまま検査
希望すれば鎮静薬を使って、眠っている状態で検査を行うことができます。「検査はいつの間にか終わっているという感覚

ます。この検査では、当日の車の運転が可能です。
二酸化炭素でおなかの張りを軽減
大腸の壁には多数の袋(ひこ)があるため、カメラから空気を送り込んで大腸の壁を十分に伸ばして病変の見落としがないように観察を行います。入江病院では大腸内視鏡検査に二酸化炭素を使用。二酸化炭素は空気と比べて速やかに体に吸収されやすく、検査後におなかの張りや苦しみが少なくなると思います。

患者のライフスタイルにできるだけ対応
「患者さまとは個々に事前にその方に適した検査方法に



内視鏡室のスタッフ

ついて相談させていただきます。また、さまざまライフスタイルに対応するために、どの検査も平日の午前、午後と隔週の土曜に実施できる体制を整えています。消化器内科の上田直樹医師、絶食で訪れる、診察医の判断で即日検査が可能です。この内視鏡検査は胃

から回復期、慢性期まで幅広い医療を提供しています。また法人内には介護老人保健施設、通所リハビリ、サービス付き高齢者向け住宅などがあり、現在国が2025年問題に向けて推奨している地域包括ケアシステムの実現を目指しています。内科や整形外科、脳神経外科に加え、総合診療科や糖尿病内科などでも治療を手掛けているので、救急告知指定病院として年間約1500件の救急搬送を受け入れていきます。「何か困ったことがあれば入江病院へ」と思っていただけ病院を目指して、これからも地域の皆さまの医療と健康を進め貢献していきたいです」と上田医師は話します。

入江病院 (消化器内科)



(写真上)入江病院の外観(同右下)患者の体の状態を把握し、一人一人に合った治療を提供できるように丁寧な診察を心掛けている上田医師(同左下)拡大観察も可能な新しいスコープを使った内視鏡検査の様子



入江病院
姫路市飾磨区英賀春日町2-25
☎079-239-3121
<http://irie.or.jp/>
入江病院



消化器内科
上田直樹医師

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00 - 12:00	○	○	○	○	○	○
17:00 - 19:00	○	○	○	○	○	休

※受け付けは1時間前から開始
【休診日】日曜、祝【診療科目】総合診療科、総合内科、消化器内科、循環器内科、糖尿病内科、整形外科、大腸・肛門外科、泌尿器科など

内視鏡検査は苦しいものだからと諦めている方もいらっしゃるのではないのでしょうか。当院ではできる限り苦痛の少ない検査を心掛けています。お気軽にご相談ください。